

令和7年度第4回大学等の質保証人材育成セミナー  
「マイクロクレデンシャルは高等教育をどう変えるか」

大学改革支援・学位授与機構

## 1. はじめに

2010年代の大規模公開オンライン講座（MOOC）の普及と新しいデジタル人材へのニーズの高まりにより、従来の学位や卒業証明よりも短期の学修歴を証明する「マイクロクレデンシャル」が世界的にブームを巻き起こしてきました。「マイクロクレデンシャル」とは伝統的な正規の学修歴よりも短期で終えることのできる学びの流通を加速させるための包括的な呼称であり、高等教育と生涯学習、職業教育を接続するための有効な手段として、学修歴を証明するデジタル技術とともに地域に合わせた発展を遂げています。

学位よりも小さな学修歴は、以前より科目等履修、履修証明プログラム、あるいはアジア諸国における単位銀行制というかたちで流通促進が試みられてきました。EUやUNESCOは、マイクロクレデンシャルを通域的な単位互換や既習得学習認定、生涯学習口座を用いた生涯学習の積み上げといった、従来からつながる教育質保証の枠組みに統合していくべきことを勧告しています。逆の視点からは、マイクロクレデンシャルの世界的流通に伴って促進されたデジタル化と相互通用のための定義の議論が、旧来からの学修歴・学習歴通用化の試みに見える化し、適用範囲を拡大させることが期待されています。

国内でもマイクロクレデンシャルをめぐる議論が活発化しています。産業界からの期待のみならず、高等教育機関のかかえる人材不足や新しい学修者層への訴求、イノベーションへのニーズ、国際連携といった課題を解決するための処方箋として用いることができるのではないか、という期待が高まっています。今回のセミナーではマイクロクレデンシャルを先行導入している教育機関の皆様にご登壇いただき、プログラムをマイクロクレデンシャルとして設定する意義と、課題について共有いただきます。

## 2. 今回のセミナーの達成目標

マイクロクレデンシャルをめぐる国内外の動向について知る。

小さな学修歴がマイクロクレデンシャルとして通用するためには、どのような条件を満たすべきであるかを知る。

## 3. 開催日時・会場

令和8年3月4日（水）13:30～16:30

16:30～17:30（対面参加者対象 情報交換会）

大学改革支援・学位授与機構 竹橋オフィス 1112 会議室

（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 11 階）

東京メトロ半蔵門線 / 都営三田線・新宿線神保町駅 出口 A8、A9 徒歩 6 分

東京メトロ東西線竹橋駅 出口 1b 徒歩 5 分

※ 本セミナーはオンライン配信もいたします。

#### 4. 対象と募集人数

高等教育機関の教職員およびテーマに関心のある方

＜対面参加＞ 定員 20 名程度

＜オンライン参加＞ 定員はございません。

※ オンライン参加、対面参加問わず参加費は無料となります。

#### 5. プログラム

13:15 開場予定

13:30～13:35 開会挨拶：戸田山 和久（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部長）

13:35～13:50 導入

「マイクロクレデンシャルをめぐる国内外の動向」

坂口 菊恵（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部教授）

概要：「マイクロクレデンシャル」として想定されているものの中に、スキルベースの学習歴証明としての役割が強いものと、従来の高等教育質保証の枠組みとの接続を強く意識したものがある。それによって、内容定義や用いられるデジタル技術標準が異なる傾向がある。高等教育マイクロクレデンシャルの中にどのようなパターンが見られるか概説し、高等教育の質保証の枠組みと接続させるために求められる、データ構造や技術要件についても触れる。

事例紹介

13:50～14:15 事例 1

「マイクロクレデンシャルの学位プログラムへの効果と継続学習の促進」

川原 洋（株式会社 サイバー大学 代表取締役 兼 学長）

概要：2007 年に開学した株式会社立通信制大学であるサイバー大学は、2024 年度より学修分野ごとに科目群を整備し、それぞれの学修歴を「マイクロクレデンシャル」としてオープンバッジ（デジタルバッジの国際標準規格）で授与する体系を導入した。卒業研究を最上位のプラチナバッジとし、履修のステップをブロンズ、シルバー、ゴールドという形で明確に体系化することで、段階的な学修目標が学生の履修継続の動機付けとなっている。さらに、卒業研究に至る専門分野の学力向上だけでなく、他分野のゴールドバッジの取得を促すことで専門学習域の多様性にも効果をあげている。

カリキュラムの更新に伴いマイクロクレデンシャルも更新されることから、卒業後に科目等履修生として再入学し、未取得や更新されたオープンバッジを取得することが可能となっている。これにより、卒業生の継続学習の推進にも効果をあげつつある。

## 14:15～14:40 事例 2

「JV-Campus でのコース修了に対するマイクロクレデンシャルとしての質保証」

大庭 良介（筑波大学 教育推進部教授）

概要：JV-Campus（Japan Virtual Campus）は文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の一環で構築され、日本の高等教育の国際的玄関口として国内外の教育交流を促進することを目的に、2022 年 3 月から事業が開始されたオンライン教育プラットフォームである。国内外 80 以上の大学・教育機関と連携し、多彩で質の高い学習コンテンツを英語および日本語で提供している。しかしながら、第三者に対して質保証されたかたちで学習成果を評価し記録する方法が整備されていないことが課題となっていた。

そのため、他団体と共同でマイクロクレデンシャル共同 WG を設立し、学習用コンテンツの学習目的、レベルの表示や修了条件の明示を求める「マイクロクレデンシャルフレームワーク」を策定し、質保証体制を構築した。これを適用し、提供される学習コンテンツをテーマごとに体系的にまとめた「マイクロクレデンシャルプログラム」が現在先行公開されている。

これらの取り組みの経緯と成果、課題について、JV-Campus 事業のプロジェクトリーダーをつとめる大庭教授が解説する。

## 14:40～15:05 事例 3

「北海道国立大学機構におけるカリキュラム通用のためのマイクロクレデンシャル」

升井 洋志（北見工業大学 情報処理センター教授）

概要：人口減少および予算の縮小により、各大学が学位プログラムを成立させるための運営教員を確保することに苦慮するケースが増えている。解決策として複数大学の組織統合とシラバスの通用が行われるが、各大学の教務システムは統合が進んでいない場合、学生の個人認証および成績情報、学習成果の共有が煩雑化する。

マイクロクレデンシャルの仕組みを用いてこれらの合理化を図る北海道国立大学機構の試みについて共有する。

## 15:05～15:15 休憩 兼 質問記入タイム

### 指定討論

15:15～15:35 竹村 治雄（教育テック大学院大学 学長）

概要：教育テック大学院大学は、2025 年に創立された教育 DX と教育機関の経営に特化したフルオンライン大学院である。竹村学長からは当大学院大学の取り組みの特色について紹介を受けるとともに、事例パートの内容に対して、講評とアドバイスをいただく。

15:35～15:50 吉川 裕美子（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部教授・主幹）

概要：各国の高等教育制度の研究、および大学改革支援・学位授与機構による学位授与制度の運営に長く携わってきた経験から、流動化社会におけるマイクロクレデンシャルの可能性について既習得学習認定との関係を中心に議論いただく。

15:50～16:25 質疑応答／ラウンドテーブル

16:25～16:30 閉会挨拶：戸田山 和久（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部長）  
アンケート記入

16:30～17:30 登壇者と対面参加者の情報交換会（※オンライン配信はございません）

セミナー終了後、対面参加の方々を対象に、導入しているインフラや制度実装にともなう課題、今後の方向性と連携等について、インフォーマルに情報交換していただける機会を設けます。参加は任意ですので、ご都合に合わせてご参加ください。

## 6. 申し込み方法と期間

- ・ 申し込みについては、当機構「大学質保証ポータル」の案内ページにお進みください。  
<https://niadqe.jp/event/7904/>
- ・ オンライン参加・対面参加いずれについても、参加希望の方は 2月27日（金）17時までにお申し込みください。
- ・ 対面参加枠は、満席になった場合にはその時点で締め切らせていただきます。
- ・ 申し込みをされますと確認メールがお手元に届きますのでご確認ください。

## 7. ご案内

- ・ 資料は、3月2日（月）までに電子的に配付します。会場においても、原則紙資料の配付はありません。事前のダウンロード等をお願いいたします。
- ・ オンライン参加の方の接続先 URL、対面参加の方の当日の入館方法については資料配付の際に合わせてご案内させていただきます。
- ・ 申し込みを行ったにもかかわらず、上記の日付を過ぎても当機構から連絡がない場合、セミナー開催前日までに下記の問い合わせ先までご連絡ください（迷惑メールフォルダ等に振り分けられていることもありますので、ご連絡の前にご確認ください）。当日の朝は、返信できない場合がございます。
- ・ 対面参加の方でご欠席になる場合には、下記、問い合わせ先までメールでご連絡ください。
- ・ 広報や報告書作成のために会場の写真等を撮影し、当機構「大学質保証ポータル」等で公表させていただきますので、あらかじめご承知おきください。人物が一部写り込む場合は個人が特定できないよう留意いたします。
- ・ 当日の講演の一部は、「大学質保証ポータル」での公開を計画しています。詳細が決まりましたらご案内いたします。
- ・ 本セミナーの録音、撮影はご遠慮ください。主催者側で記録用に録音等を行う場合がありますが、研修事業（成果報告等を含む）以外での利用はいたしません。

## 8. 問い合わせ先

大学改革支援・学位授与機構 評価事業部 評価企画課 企画第2係

E-mail : hyokikaku2@niad.ac.jp

(参考情報)

これまでの質保証人材育成セミナー一覧

<https://niadqe.jp/information/human/>